

第二の人生行路

横田 由雄

(湯沢出身/神奈川県支部)

会社人生の終盤、第二の人生行路についてさまざまに思索したある日「退職後の10年間は、健康に留意しながら趣味中心の生活をす」と家内に話した言葉から①従前の縦社会を卒業し、横社会を勉強する②地元で根付いた生活を③新しい趣味に挑戦する…と、その目標を定めました。

以後、ふるさと小野町会・地元の町内会・老人会・行政との対話・年金受給者の会・地元神社氏子会などに名を連ねて、写真・ハイキング・登山・旅行・スポーツ・絵画鑑賞・演劇鑑賞・映像編集・カラオケサークル活動を行うなど、ほぼ計画通りの生活を元気に続けております。

他方、長い会社で培った技術・手法・手段を駆使した部会活動では、多くの方々の信頼を得る場面が多々あり、幹事役・事務局・会計など裏方の仕事も増えてきております。

絵画鑑賞では、東京近辺で開催された、ゴッホ展・エルミタージュ美術館展・ベルリン国立美術館

展・マウリッツハイスメ術館展などに足を運び、世界の一流絵画を鑑賞して、教科書や美術書で学んだ豆知識を想い出すとともに、人生行路の終盤には必ず訪れる静かな生活への対応も学んでおります。

カラオケサークルでは、作曲家・故市川昭介(福島県郡山市出身)の兄弟弟子であった元プロ歌手に、多くの場面で同席しながら長年学び、今も有意義なアドバイスを受けております。

本年10月には、藤沢市民会館小ホールで開催される「年金受給者の会仲間との発表会(第11回)」で舞台から熱唱し、健康第一の日常生活に感謝するとともに、家族・恩師・友人・知人に「ありがとうございます」の念を届けております。



浮金つつじ児童園 祖父母参観

浮金つつじ児童園では、9月12日に祖父母参観を行い、いつも園児たちを優しく見守ってくれているおじいちゃん、おばあちゃんに児童園に来ていただきました。

自由に活動している様子を観ていただいた後、園児が歌の発表をし、さらに、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に手遊びやダンスをしました。皆さんニコニコ笑顔でお孫さんの手を取り、楽しく踊ってくださいました。園児たちもいつもより張り切って動いていたようです。

体を動かした後は、キーホルダー作りをしました。園児やおじいちゃん、おばあちゃんも一人一人透明のプラ板に好きな絵を描き、オーブントースターで焼きました。焼くと小さくなるプラ板の仕上がりを下キドキしながら待ち

ました。どれも世界に一つだけの個性が光る素晴らしいキーホルダーが完成しました。

児童園では、自宅とは違ったお孫さんの様子も見られたようで、おじいちゃん、おばあちゃんは園児の姿を細めて観てくださいました。参観日は園児と祖父母の交流はもちろんですが、お孫さんの話や世間話をしながら、祖父母間の交流も深まった一日だったようです。



上/世界に一つだけのキーホルダー作り。右/おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に手遊び。

